

8

やがて、「労働争議」という大きな事件
が起きます。
小市は、この事件の責任をとるべきだと
考え、会社を辞めました。

9

昭和2年(1927年)、小市を慕って集まっ
た技術者とともに、今の浜松市中央区寺
島町に、「河合楽器研究所」をつくりま
した。

12

こうして、河合小市の河合楽器は、日本
楽器とともに競い合いながら、質の高い
楽器を生み出していきました。

13

ここで、河合小市が活躍した場所を見て
ください。

・JR浜松駅より東にある寺島町に、小市
がつくった河合楽器研究所、そして今は
河合楽器製作所の本社があります。

7

そこで、小市のアクションを使ったピアノ
ノが完成しました。
アクションというピアノの心臓部の部品
を輸入する必要がなくなり、日本のピアノ
ノづくりに、とても大きな前進となりま
した。

大正5年(1916年)山葉寅楠が、亡く
なりました。

小市は、寅楠が社長をつとめていた「日
本楽器製造株式会社」の技術部門の責任
者となりました。

10

翌年には、グランドピアノの製造を開始
しました。

昭和4年(1929年)、「河合楽器製作所」
と名前を改めました。

11

そして、偶然だったのでしょうか。
その近くで、山葉寅楠がオルガンづくり
を始めました。
小市の評判を聞いた寅楠は、自分のとこ
ろで働くことを勧めました。

14

これらは、浜松科学館から、直線距離で、
およそ2km以内にあります。

・寺島町から西に、小市が生まれ育った
菅原町があります。
(浜松科学館は、寺島町の隣、北寺島町
にあります。)

・菅原町北側に、山葉風琴製造所があり
ました。

9

「アクションの開発」を託されました。

鍵盤を押すとハンマーが弦を叩くという
仕組み、ついに自分の手でアクション
を作り上げます。

3

寅楠のところで小市が働くようになった
のは、11才のときです。
小市は、住み込みで一生涯懸命に働いま
した。

2

河合小市は、明治19年(1886年)に
車大工の家に生まれました。
小市は、模型の馬車を見事につくるほど
手先が器用でした。
小市は、今の浜松市中央区菅原町に住ん
でいました。

4

浜松科学館で会いましょう！

常設展 2階展示「河合小市」

主な参考資料
・「河合小市から EX へ：創立70周年記念」
「河合小市から EX へ」編集委員会編／河合楽器製
作所
・「美しき旋律のために」鶴見正夫／PHP 研究所

浜松科学館
Hamamatsu Science Museum
作成：2025年 監修：株式会社河合楽器製作所

5

工場を視察し、機械や部品を購入するの
が目的でしたが、小市は寅楠の出発前に
アメリカに行くことになりました。

1

※発明小市
小市はピアノアクションやピアノ響板、ハー
モニカ・リードの取付装置など18件の特許、
10件の実用新案を取得した。

1

河合小市は、明治19年(1886年)に
車大工の家に生まれました。
小市は、模型の馬車を見事につくるほど
手先が器用でした。
小市は、今の浜松市中央区菅原町に住ん
でいました。

1

浜松の偉人シリーズ ミニ折本

この手で 世界一の
ピアノをつくりたい

1886~1955
河合 小市

浜松で、楽器産業が盛んになったのは、
山葉寅楠の活躍だけではなく、河合小市
の活躍もあってこそでした。
河合小市を紹介します。